

Obsession Act 3

For adults only





出来る限り
楽しませて
もらおうよ



のや
かないか
ん時
でねが



不平の裏を乗りこえ、同じでその身と身で戻りに
大争なものをすることが出来た。

しかし、その安堵もつかの間。

彼女はずあることに男に呼び出され、
争正と命じられる。

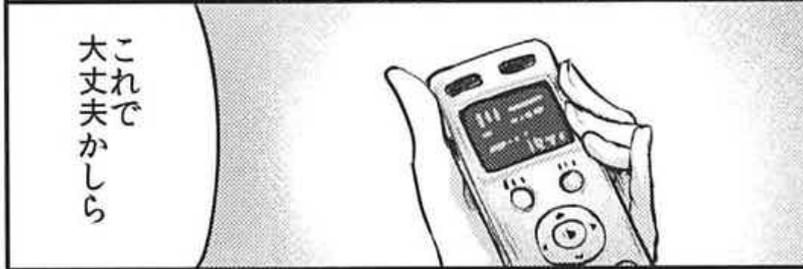
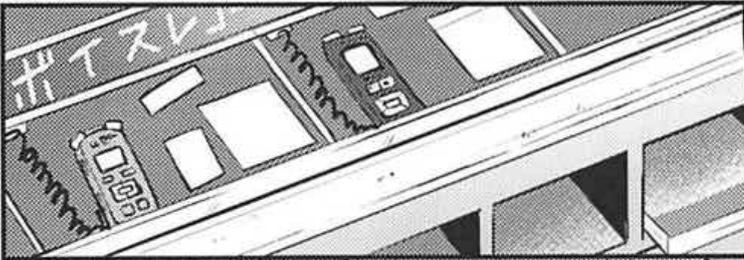
争正の初夜をするわけでもなく
むしろ、その 時間以外には戻らず
してくれる別の行動を願ひ研しむ。

果たしてその夜は当たり前
の「アイドルとしての彼女」を男は抱入るのか。

「^{たぞ} 近い前のられた時は、指輪するプロデューサーに
「IPがあっても一冊にしてくれませんか？」
と、さう問ひかけるのだった。



よく分からない
けれど…



これで
大丈夫かしら



非常に小型ながら
マイク性能は高く

モードによっては音声が入った時のみオンになる機能もございます

消費電力も抑えられ
バッテリー持ちも良好

お客様のご要望に
ぴったりの一品かと
存じます



ありがとうございます
ございます

レジはあちらで
ございます



はあ…

コッ

コッ



それでは
こちら頂けますか？



凄く綺麗な人
だったなあ…

声も立ち
振舞いも…

だったりして

芸能人

ないわけ
…



——高垣くん
今日は例の場所
に14時から
寄ってから
現場入りして

何の話ですか

どこへ行けど？



おいおい
最近はおい
妙に絡む
じゃないか…

君には悪いと思うが
事務所の

いや

先輩や
プロデューサー君の
為に……頼むよ



また

……もう
何度目でしょうね？
それで場所は？

いつもの……××に
受付には話を
通しておくから

私に身体を
売れ……と





—どうかね
最近の仕事は？

貴方が手を
回しているん
でしょ？

私は望んでなんか
いないのに…



おや
気に入らなかったかね？

君のためを
思っただがね
少し胸が
大きくなっ
たか？

仕事だつて
頼んでんか
いません

くく……今日は
随分とつれない
じゃないか？



身体はこんなに
正直なのに



貴方が脊して…
…触るから





君の辛抱強さには

くくっ……全く感心するよ

これだけ濡らしては……まだそんな口を利けるとは……

あう……



動かさ……ないでっ……!



……ありませんから!



好きでしては……いるわ……



当然……ですっ……!



後輩のアイドル……いやそれ以上に

あのプロデューサーか……ね?

気に入らない

キュル♡



あの時言っただろう
君は自分の立場を
理解しろと



もう君の身体は

こんな扱いでも
悦ぶようになったのだよ



見透かされている……

イヤたくない……



膣内がついてるぞ

イキそうなんだろう?





ふふその
残念そうな顔…

とても
アイドルとは
思えんな



あつ…？

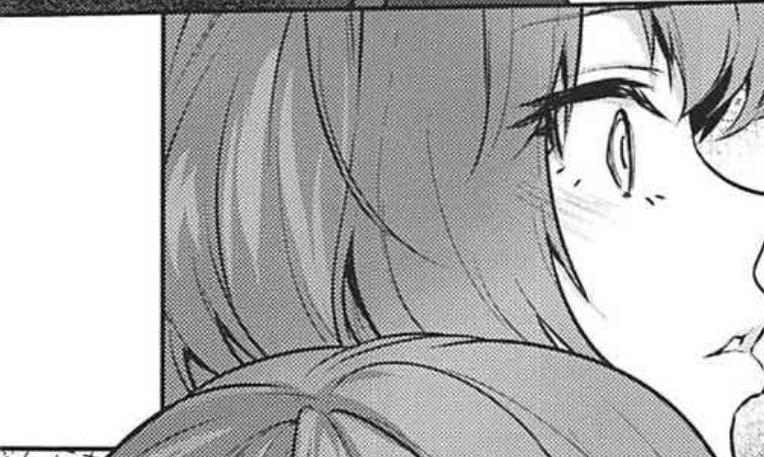
ほ、

ほ、



簡単には
イかせては
やらんよ
君が弁える
まではな

わは…！
私は…！



次は奉仕を
してもらおうか



……



…イヤです
と言ったら？



君が守って
いたものだけだ
失われるだけだ

私は
構わんがね

そうだ
もつと突き出せ



んうっ…

わろっ



くくっ…
これは絶景だな



あっ

んうっ…



どうした
もう降参か？
口がお留守だぞ？

…わかって
います…!!



恥ずかしい…

…こんな格好…
…でも…



早く射精させて
終わりに...

もう十分...
よね...



気にしない...

いいぞ
今度は急に
やる気を出して
きたな

...言わせておけば
いいんだわ...



ふふ

これは俺も
気合を入れねばな



っ…
射精すぞ…!

んっ…?
おちんちん!
おつきく…

精液
出してっ…

んっ…!

こぼすなよ…ッ!

んっ…

んっ…

…我ながら
大量だな

いつもと違う君に
興奮したかな？

…まだ
飲むじゃ
ないぞ

ちゅく





飲むな
とは言ったが
こぼせとは
言っていないぞ

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



こんな
にヒクつかせて...
そんな
に欲しかった
のか?

あ...

あ...

あ...



挿入しただけで
イヤなよう
じゃないか

そん
なっ...

抑えたって無駄だ

君の身体のことには
君以上に知っている



いつものように
思い切り喘いでも
良いんだぞ？

どうだ？

…面白い

その我慢

崩してみたくなくなった！

声を出したら
余計に入っちゃつ…

何より
この男の
思いたく
ないに
……！

君は奥が
好きだつたな

ほら
子宮が降りて
きているぞ！

おはほん
おはほん
おはほん
おはほん

おはほん
おはほん
おはほん

おはほん
おはほん

頭の中
……
……
……

気持ち
良すぎ……

ははっ！
一突きごとに
膣内が締まるのが
分かるぞ！

イキそう
なんだろう？

君の我慢の理由...

：俺のことを嗅ぎ回っていることと関係があるのかな？

っ!?

気付いていないか？
とても思ったか？

ギキッ

ふん

嘘...

知られ...

可愛い悪戯と放つとただけさ

わんわん

素直になれ...!

あ...

ふふ
そうだ

たさ

チンチン...

チンチン

あ...
チンチン...





結局くくっ？

派手にイッたな？

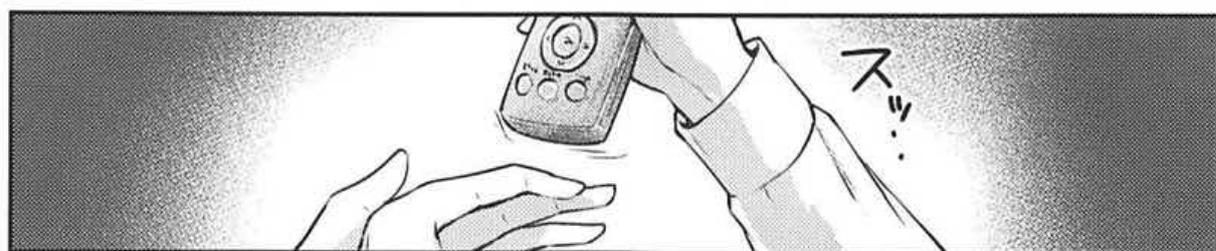


ふふ
疼いたら
いつでも
相手やろう



トツプアイドル
高垣楓も
終わりかな…
これほど堕ちては





喘ぎ

絶頂の快感に
よがり狂う
この音声が
表に出れば
とてもアイドルを
続けられまい

君のあられもない姿が
知れ渡つても
いいというのか？

……

可愛い反抗も
結構だが
もはや君は――



構いません

アイドルを
続けたいのは
やまやまですが

その時は山奥にでも
隠れ住みます

笑つてはいるが
この眼……

……どうしますか？

私と心中するか
それとも――

くくく……

……？



お待たせしました



どうしたん
ですか
急に？

ええ：
ちよつと
色々ありまして：
プロデューサーに
会いたかったんです



本気です



ま...また
からかって...!

いいえ...

あの時の約束...:
守ってくださいね？





発行
風のごとく！
風吹ほに 風術師
発行日 20170430
印刷 SUNGROUP

WEB <http://lkwin.x.fc2.com/>
MAIL buchi_koneko@yahoo.co.jp

18歳未満購読禁止
無断複写、転載禁止